

公益社団法人私立大学情報教育協会
平成 27 年度第 3 回 FD 情報技術講習会運営委員会議事概要

- I. 日 時：平成 28 年 1 月 22 日(金) 11:30 から 13:30 まで
II. 場 所：公益社団法人私立大学情報教育協会会議室
III. 参加者：高橋担当理事、田宮委員長、竹内委員、家本委員、渡辺アドバイザー、山本アドバイザー、
(Skype) 及川委員、朽尾委員
事務局：井端事務局長、野本

IV. 検討事項

FD のための情報技術研究講習会の各コースについて開催要項をもとに講習内容の検討を行い、委員の意見やテキストの整理について以下の通りとなった。

1. タブレットを意識した電子書籍型教材作成コースについて
 - ・ 委員から参加者テキストの形式で資料が提示され、内容が確認された。
 2. LMS 活用コースについて
 - ・ 委員から参加者テキストの形式で資料が提示された。
 - ・ 項目を開催要項にそろえることにした。
 3. 双方向・参加型授業コースについて
 - ・ ラーニングシナリオについては、学生に学びのシナリオを書かすイメージが委員から提案されたが、教員のシナリオとすることにした。
 - ・ 「アクティブ・ラーニングの技法」については、文系として調査など演習例、理系として一般授業への組み込み例、医系として PBL チュートリアル例などを委員 3 名で分担して紹介することにした。(テキスト分量として授業例を各 1 ページ+イントロ・まとめで各 1 ページ)
 - ・ ファシリテータとして教員の対応または TA・SA の育成が考えられる。担当教員の役割としては、どのようにプランニングするのか、授業パターン別にどのような役割をするのか、学生のファシリテータをどのようにするのか、アクティブ・ラーニングのパターンから技法を説明してはどうか。事例を通じてファシリテータの関わりを事例を通じて紹介してはどうか。
 - ・ 学生が理解できてない場合には、パターンを変更して教育する方法などのシナリオや復習として課題により確認させる仕掛けなどが必要ではないか。
 - ・ 「ファシリテーション技法とディスカッション」については、どのようにプロデュースするのか、どのような組み立てができるのかを紹介し、シナリオ作成につなげることにした。(テキスト分量として技法 1 ページ+シナリオ 1 ページ)
 - ・ 「ラーニングシナリオの概要作成」については、途中で失敗事例の紹介をいれてはどうか。
 - ・ 「反転授業の留意点と対策」については、山梨大学のフリップとラーニング、協調学習、学生への質問の資料を利用できないか調整することにした。
 - ・ 用語集については、見出しとして構成を考慮することと一部の用語は説明を更新することにした。
 4. その他
 - ・ 各コースページ表紙の次に開催要項のコース内容部分を付けることにした。
- V. 今後のスケジュール
- ・ 次回の委員会は 2 月 4 日に開催し、双方向・参加型授業コースを中心に内容の確認を行う予定とした。